



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2021-2022年度 鯖江ロータリークラブ

2021-22年度 国際ロータリーテーマ

2021-22年度 第2650地区スローガン



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「活力と輝き」

ーロータリーの基本を大切にー



鯖江ロータリークラブ会長方針

「元気に～いま、私にできることを～」

会長 帰山 明朗

第2991回 10/8(金)

10月第2例会

点鐘:12:40

米山奨学生卓話

テーマ 「私の学生生活」
同行 大刀隆雄地区米山奨学委員
卓話 PHON SOKOL 奨学生 (カンボジア男性)

第2992回 10/15(金)

10月第3例会 点鐘:12:40

文化プログラム

テーマ 「音楽と教育」
出演 ソプラノ:天勝 まゆみ 様
ピアノ:木下 由香 様

第2993回 10/22(金)

10月第34会

点鐘:12:40

テーマ 「未来をつなぐ地域の伝統工芸品産業」
卓話 県立大地域経済研究所 教授 南保 勝 様

4つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

出席率73.5%

10/8(金) 第2991回 例会報告

注:10月29日は休会です

鯖江商工会議所 4階大ホール

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ ー タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

我等の生業

口ずさむ程度にお歌いください。

会長の時間



帰山 明朗 会長

先日の日曜は西山公園でのノルディックウォークを会員の皆様とともに満喫しとても楽しい思い出を

させていただきました。改めてお世話いただきました岡本親睦委員長さん、また技術指導をいただいた佐野幹事、そして卓話でご教授いただきました木村先生に心からお礼申し上げます。

そのときにいわゆる「祈りの道」を通りました。ふと興味を持ちまして、ウォーキング後2日後にやってきた強烈な筋肉痛と闘いながら、少し調べてみました。

この祈りの道は、ご存知の通り西山動物園から展望台にかけて石造が並ぶ道です。この長さは約900メートル。石造と句碑を合わせると約420体があるそうです。

ここは、もともと園路だけだったところに、市民の心の潤いと安らぎの場として、また格調高い都市づくりにつなげたいとの思いで、西山公園に、全く宗教色のない石造や句碑を造ってはどうかと発案される方がいて、それに賛同した方々で1人1体以上製作したそうです。このとき昭和63年、これを発案したのは、画家や書家、工芸家など文化人でつくられた市民グループ「祈りの道設定の会」。会長は、鯖江市の画家の大村武士さん、この方は鯖江公民館、今の建物の前のもの。当時の市民会館の正面の大きな壁画をデザイン制作された方でもあります。

当時は1,000体の設置を目標に、県内外から希望者を募ったそうです。石造の材料には加工しやすいことから足羽山で採った笏谷石を使用。参加者各自が時間を見つけては、実行委員会メンバーの工房に集まり、のみを使って彫り進めたとのこと。いつも10数人が集まりにぎやかに作業されていたそうですし、自分が彫れない人は得意な人が代わりに制作したようです。また県外の中学生在が1週間泊まり込んで作業したこともあるとか。

こうした取り組みはマスコミで取り上げられ、賛同者は増えていき県内はもとより、東京、大阪、愛知、京都、神奈川、静岡、香川、福岡など希望者は全国に広まりました。県内外から集まった会員は289名。ほとんどの人が素人さんで教わりながら製作されたそうです。

そして、当時の石の価格、値段は一体あたり3-4万円で、それに設置費用が加わったそうです。

こうして制作された石造が西山公園に最初に設置されたのは、約24年前の1988年6月2日、このときは53体が設置されたそうです。以降、段々と数が増え、1989年に100体に、1990年に200体に、1992年には300体に、1997年に420体となったところで、関係者の高齢化や石造の設置希望者が減少したことなどからこの取り組みは終了。420体の石造は市に移管されたそうです。

並ぶ石造には「なぜドラえもんや短歌を彫ったものなど、お地蔵さん以外のものまであるのか」との質問が多いようですが、これは、あくまでも石造で、仏像のように宗教的なものではないため、製作者が自由に造ったためとのこと。

当時、事業に賛同し石造を作られた方の、その理由をいくつか紹介します。

「書家・書道の方が、作品に「照一隅(いちごうをてらす)」と彫り設置したのは、静かなまちを望む場所から子々孫々まで幸せを届けたいとの思い」

そのほかには「結婚記念に」とか「お亡くなりになったお子さんのため、そして「後世の若者たちの道しるべに」など様々なものだったようです。

また、この取り組みが進められている最中、300体を設置した際には記念式典も行われ、各自の思いを書いた手紙や制作風景の写真などをカプセルに入れて記念碑の下に埋めたそうです。これは「いつか未来を背負う子供たちがカプセルを開け当時の人たちの思いを受け継いでくれたら」そんな思いからであったようです。こうしたことを知ると「祈りの道」から改めて感じるものがありますね。以上です。

委員会報告



岡本 圭子 親睦委員長

10月3日のノルディックウォーク体験にご参加いただきありがとうございました。会長から先ほどお話がありましたが、皆様のおかげで凄く素敵な時間を過ごす事ができ、大変感謝申し上げます。

ウォークの後の「オカリナ演奏会」では、素敵な音色を聞かせていただけて、本当に楽しかったです。ご参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

11月7日(日)「山のぼりた〜い」では、「赤兎山」を予定しています。ご都合のつく方は、是非ご参加いただけますようお願いいたします。楽しいと思います。

米山奨学生卓話

同行者 大刀隆雄地区米山奨学委員

卓話 PHON SOKOL 奨学生 (カンボジア男性)

テーマ 「私の学生生活」



同行者:地区米山奨学委員 太刀 隆雄 様

テーマ:「米山記念奨学会について」

事業の使命: 将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。特徴として、①世話クラブ・カウンセラー制度②民間最大の国際奨学事業があります。地区の割当数は、2650地区53名で、県内は8名です。この人数は寄付金額で決まります。昨年度は全国で5番目の実績がありました。



卓話者:PHON SOKOL 奨学生

テーマ:「私の学生生活」

武生ロータリークラブにお世話頂いている米山奨学生のPhon Sokolです。どうぞ宜しくお願い致します。私の趣味は、面白い数学の問題の解き方や、日本の特徴的な建築物の紹介等を自分のフェイスブックページで投稿すること、PINTERESTというアプリでデザインと構造の素晴らしい建築物の写真を見ることです。

日本の食べ物の中でお寿司とお刺身が大好きです。実は来日して東京に3年間住んでいた間、一回もお寿司やお刺身を食べたことがありませんでした。福井に来てからお寿司と刺身を食べてみて、大好きになりました。そのきっかけで、寿司チェーン店でアルバイトをしました。10人兄弟で、農家の貧乏な家庭で生まれた私が、今日本で留学しているなど夢みたくです。

カンボジアは、東南アジアに位置する国で、正式国名は、カンボジア王国です。ベトナム、タイ、ラオスに隣接し、農業国として栄えています。カンボジアというのは「太祖カムプの国」という意味で、クメール人の神話伝説に由来しました。インドの高僧カンブが建国し、その国は「カムプチア」と呼ばれました。国旗の由来について、旗の中央には国のシンボル、アンコールワットが仏教を象徴する白で描かれています。青葉は王室の権威を、赤は国民の忠誠心を表しています。面積は、18.1万平方キロメートルで、人口は、1610万人ぐらいで、首都は、プノンペンです。言語は、カンボジア語で、クメール語とも言われます。カンボジア語の文字は古代インド系の文字の影響がある固有の文字です。子音文字に母音を表す記号をつけるというシステムですが、1つの子音の中で子音が連続すると2つ目の子音の形が「脚」といわれる形に変態するのが特徴です。なぜ脚なのかと不思議に思いますが、1つ目の子音の下にコンパクトな形になって付くことが多いのと、横に付く場合はお行儀よくかまっていた文字がびよーんと脚を伸ばしたような形になることが多いからです。クメール語は、アルファベット(表音文字)が世界で最も多い言語としてギネスブックに登録されています。カンボジアは古くからインドと中国を結ぶ海上交通の中継地として栄えました。1540年代にポルトガル人がこの国から日本にカボチャをもたらしたので、カンボジアが「カボチャ」の語源となりました。

2015年に日本の文部科学省奨学生として来日し、今年は7年目です。最初一年間日本語を勉強し、建築系の専門学校に進学。その後、福井大学に3年生

で編入しました。4年生になり、研究に必要な専門知識や能力等を身に付けるため、たくさん先行論文を読んだり、ゼミで与えられた課題にも積極的に取り組んだりしていました。大学生活の中で一番辛かったのがこの学部4年生の頃です。研究室は空間構造の構造解析の研究がメインでしたが、竹材の空間構造建築物への竹材の適用に関する研究に取り組む事ができました。スタートは難しかったですが、竹材に関する資料や先行研究論文などを沢山読み、自分なりの研究方法を提案しました。竹材に関する力学特性の研究は、割竹材については多いものの、丸竹材についての構造計算用データは揃っていません。竹材の伐採を行い、試験体等の製作を完成させ、試験装置準備が遅れる中で、卒業論文発表の締め切りは近づきました。しかし諦めずに、竹材に関する研究実績のある富山大学の教授に相談し、試験装置を貸して頂き、研究成果を出し、無事に大学を卒業できました。この経験から、成果を諦めずに追求することで、最初に自分にできることを探すこと、次にその結果から周囲の協力を引き出すこと、そして最後までやり通した達成感が自信につながることを学びました。現在は福井大学大学院安全社会基盤工学専攻に所属の大学院2年生です。

私は、竹材を使用拡大することを目標として、建築物への竹材の適用に関する研究に取り組んでおります。新しい資源として注目されている竹材の活用は少なく、特に建築分野における竹材は非構造材として限定的に利用されているのが現状です。また、身近な問題として、材料コスト、木材の減少、竹林の荒廃対策、ひいては建築材料の観点からのCO2削減に関して、SDGsに貢献することを目指して、空間構造建築物への竹材の適用を試みることにしました。現状では竹材があまり使われないのは、形状が不定形、力学特性が不明、そして接合法と強度の関係が不明な点です。これらを解消すれば竹造仮設構造物の設計可能性につながると考え、竹造構造物の設計の可能性を確認するために、モウソウチク丸竹の断面形状推定実験と、モウソウチク丸竹の曲げ強度性能推定実験を行いました。結果、「丸竹は生物体そのままの形状のため断面形状および力学的特性は標準化が難しい」という固定概念は誤りであり、構造設計に必要な入力データを高い精度で推定でき、接合部の性能を標準化で、竹製仮設構造物の設計の可能性を確認できました。竹材に適している接合法と構造体の提案は、丸竹部材に穴を開けて、塩ビパイプを貫入し、ロープで結ぶ実用的・低コスト・簡便・施工制御を有する接合部です。本構造体は、レシプロカル構造の特性を竹の持つ特性と重ね合わせ、レシプロカル空間構造への竹材の適用を試みることを目標とし、レシプロカル構造の挙動や耐力を支配する接合部に焦点を当てます。

就職活動の中で、ビジネスマナーやスケジュール管理など、多くのことを学びました。これらの辛いことを克服できるのは、米山奨学金が助けになったと感じています。授業料の納付や、生活費の足しに使用しましたが、これがなかったら、今の私はいないと思います。ロータリー米山記念奨学会は私にとって、大事な存在です。ロータリークラブの皆様にお世話になり、ありがとうございます。皆様が奉仕や人のために活動されているのを近くで見て、私も人の役に立てよう頑張っていきたいと思っています。

ロータリー情報プログラム

岩尾 顕治 ロータリー情報委員長

今日は、奉仕理念についてのお話です。ロータリーの第1モットーService Above Self.「超我の奉仕」。第2モットーHe profits most who serves best.「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」は、よく知られています。1923年「決議23-34」第1条で、ロータリー

は、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」―の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践倫理の原理に基づくものである。Serviceを調べると「奉仕」と「役に立つこと」が出てきます。「役に立つ」を事業者の立場から言いますと、「顧客満足」も同じかと思えます。各々が各事業の中で、顧客の満足を図っていけば、人気はおのずと生じてくる。＝儲かるという事です。このように経営すると利益が上がる1つの科学だという事です。皆さんも自分の職業に引き付けて、お考えいただけたらと思います。



米山奨学委員 武生府中RC

ここにBOA報告	
大刀 隆雄 様	今日は米山月間です。よろしくお願ひします
帰山 明朗 会員	米山奨学生のオノソコル君地区米山奨学委員大刀様をお迎えて
佐野 直美 会員	日曜日のノルディックウォーク楽しかったですねありがとうございます。大刀様ブオン様をお迎えて
園 幸雄 会員	久しぶりの友人、大刀さんをお迎えて
齋藤 多久馬 会員	大刀様お世話になります。ブオンさん卓話期待しています
笹尾 昌敬 会員	大刀地区委員様と米山奨学生をお迎えて
野中 敏昭 会員	ブオンさんの卓話を楽しみに
大橋 良史 会員	"
黒田 敏夫 会員	結婚祝いをいただいて
酒井 雅憲 会員	"
梅田 吉臣 会員	ノルディックウォーク楽しかったです 親睦委員長お疲れ様でした
小淵 洋治 会員	勤続表彰を頂いて
窪田 健一 会員	ちよっと良いことがありました